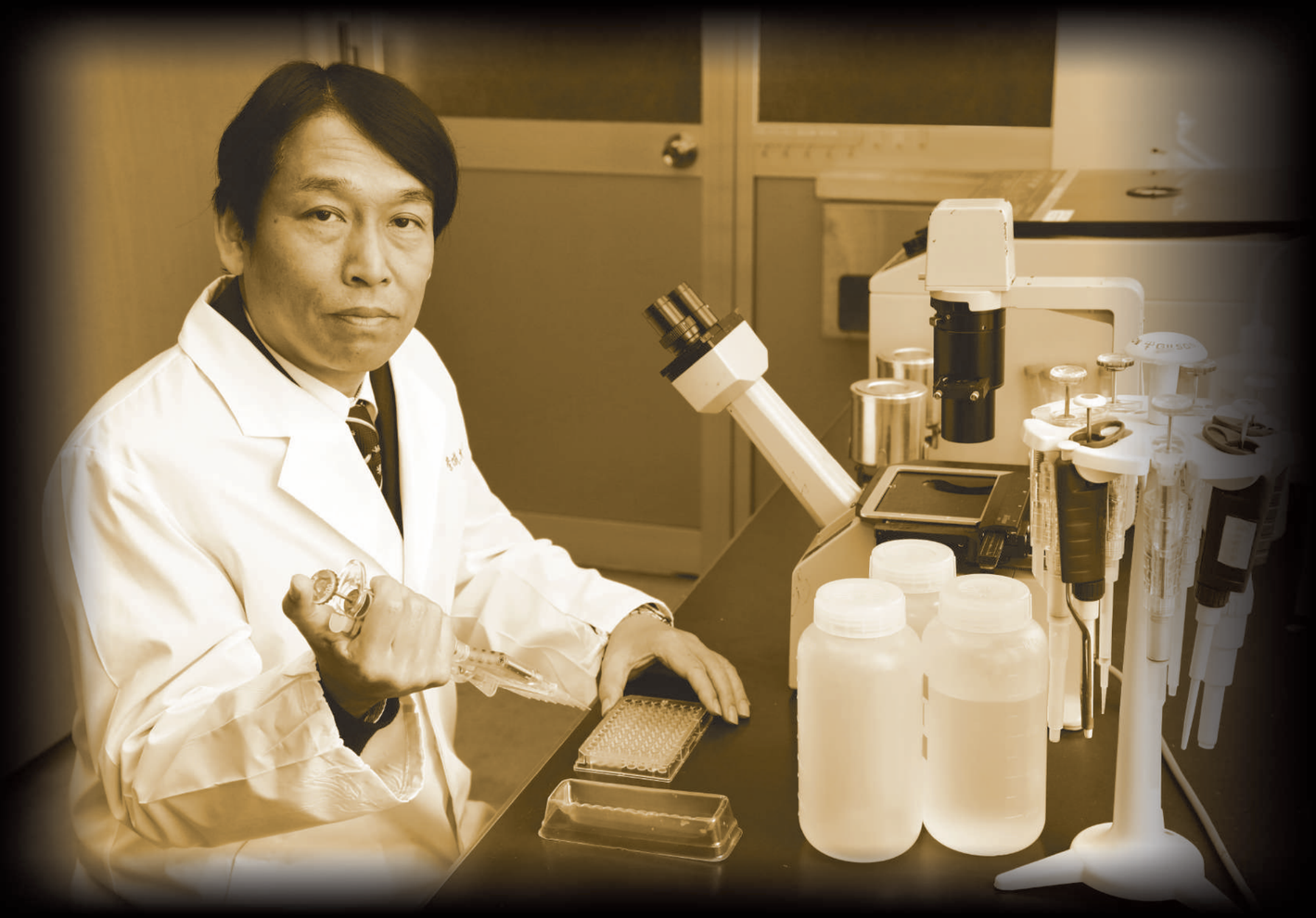
抗がん剤の免疫測定法の開発



生物生命学部 応用生命科学科　齋田 哲也 教授

適正な薬物療法のために！

抗がん剤と聞けば「副作用が怖い」と思われる方が多いと思いますが、適正に使用すればそれほど恐れる必要はありません。医薬界では今日、個々の患者さんの血中薬物濃度を測定し、望ましい有効治療濃度に収まるように用量を調節する「薬物血中濃度モニタリング（TDM）」が実施されています。抗がん剤も同様に、このTDMが実施され、より安全かつ有効な薬物療法が行われています。このTDMが活発に行われるようになったのは、分析化学の進歩により血中の低濃度の薬剤を容易に定量できるようになったからです。特に抗体を用いる免疫測定法は、一般に広く利用されています。免疫測定法を開発するためには、薬剤のみに反応する特異抗体を作製する必要があります。しかし、薬剤によっては、特異抗体の作製が難しく、免疫測定法の開発がされていない薬剤も少なくありません。私は、抗体の作製がこれまで難しいとされていた抗がん剤に対する免疫測定法の開発に成功して来ました。これからも抗がん剤の効果的な薬物治療に繋がるこの研究を続けていきます。

崇城大学
SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部		工学部				情報学部	芸術学部	
薬学科	応用微生物工学科	応用生命科学科	機械工学科	ナノサイエンス学科	建築学科	宇宙航空システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082　熊本市西区池田 4-22-1　問い合わせ（入試課直通）TEL:096-326-6810　そうじょう大学 検索